



令和5年度 三股町立梶山小学校 学校だより(No16)

かじやま



かんどうがいっぱい じまんがいっぱい やる気じゅう分 毎日が楽しい 梶山小

R6.2.6(火)：文責 校長

自己肯定感について考える！

先日、地域の方と「自己肯定感」の話になりました。その方も、梶山小の子供たちに「自己肯定感」をもてる子供になってほしいという気持ちをもっておられました。最近よく、「自己肯定感」という言葉を見聞きします。



◆「自己肯定感」とは、「自分の存在を認め、自分は自分のままでいいと思える心の状態」だと思います。「自己肯定感」が高ければ、気持ちが安定し、他人からの評価を気にしたり、他の誰かと比べたりすることも少なくなるのではないかと思います。

「自己肯定感」が高い子供は、以下のような特徴があるとされています。

- 自分を大切にできるので、同様に、周りの人も大切にできる。
- 色々なことに興味をもち、好奇心が旺盛。何事にもチャレンジできる。
- 失敗しても、気持ちを切り替えて、再チャレンジできる。
- 人前でも、物おじせず、堂々と行動したり、話したりできる。
- 他人と自分を比べず、ナンバー1ではなくオンリー1を目指すことができる。

子供時代（幼児期や児童期）は、大人世界と比べ、競争や比較の機会は少ないように思います。そうであれば、子供の時は、自己肯定感を高める絶好の時期なのではないかと考えています。

話が変わり、梶山小の子供たちは、その「自己肯定感」をうまく形成しつつあるのではないかと考えています。そのような環境にもあるように思います。長い文章になってきていますので、今回の「自己肯定感」の話はここで終わりにしますが、次回の学校だよりで、「自己肯定感」の高め方についてもふれてみたいと思います。

梶山小HP（ホームページ）が50万アクセス間近です。

梶山小HPを4月1日に(33万5000アクセスで)、前任者とバトンタッチして、もうすぐで、50万アクセスになりそうです。

とにかく、今後も、2つのこと①シンプルで読みやすいHP、②こまめに更新されるHP、を頭において、HPを発信しています。

*2月22日(木)は、今年度最後の参観日です。参観授業と懇談会はもちろんのこと、150周年記念行事では、子供たちの発表も計画しています。

☆彡 自分が正しいと思うことをしなさい。何したって批判はつきものだから。
<日本のあるおばあちゃんからの言葉>

❖ 「自立・貢献できる社会人をめざして！」知徳体のバランスのとれた児童の育成